

各 位

 会社名 株式会社テレウェイヴ
 代表者名 代表取締役社長 齋藤 真織
 (JASDAQ・コード2759)
 問合せ先 取締役財務経理部長 岩崎 伸介
 電 話 03 - 5339 - 2301

平成20年3月期連結業績予想との差異及び 個別業績における前年実績値との差異に関するお知らせ

平成20年3月期決算におきまして、平成20年1月31日に公表いたしました平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の連結業績予想との差異及び個別業績におきまして前年実績値との差異に関しまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期連結業績予想との差異(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益 (損失)	経常利益 (損失)	当期純利益 (純損失)
前回予想(A)	18,549	329	471	1,485
今回修正(B)	18,373	395	486	3,533
増減額(B-A)	175	66	15	2,048
増減率(%)	0.9	-	-	-
(参考)前期実績 (平成19年3月期通期)	22,974	941	843	815

2. 差異の理由

当社グループは、平成20年3月期を中期的な成長を実現するための基礎構築期として位置づけ、既存顧客に対する経営支援サービスの更なる拡充、ITパッケージの安定的成長、コスト削減による収益構造の安定化を重点施策として取り組んでまいりました。

売上高は概ね計画どおり進捗したものの、前回予想に対して若干の未達となったことに伴い、営業利益におきましてはその影響から前回予想よりも下回りましたが、経常利益におきましては概ね計画どおり進捗いたしました。また、当期純利益につきましては、平成20年4月10日に公表しました「平成20年3月期末の関係会社株式評価損(減損損失)に関するお知らせ」のとおり、新たに特別損失として、関係会社株式評価損による減損1,578百万円を計上いたしました。上記の減損に加え、来期以降の事業計画について保守的に判断し、また財務の健全性を確保する目的から、繰延税金資産353百万円を取り崩したため、業績予想に対して2,048百万円減少の3,533百万円となります。

これらの理由により、上記のとおり売上高18,373百万円、営業利益395百万円、経常利益486百万円、当期純利益3,533百万円となります。

3.平成20年3月期の個別業績における前年実績値との差異(平成19年4月1日～平成20年3月31日)
(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益 (純損失)
平成19年3月期	3,613	2,670	2,676	2,043
平成20年3月期	827	24	153	1,911
増減額(B-A)	2,786	2,645	2,522	3,954
増減率(%)	77.1	99.1	94.2	-

当社は純粋持株会社であり、営業収入は当社グループの各社に対する経営指導料、業務委託料及び受取配当金によるものになります。平成20年3月期は、当社グループの中で最大規模であり事業主体となっている子会社株式会社テレウェイヴリンクスにおいて、リース売上における会計基準の変更があったことにより、一時的に期間損益が大幅悪化しており、それが純粋持株会社である当社の業績に大きく影響を及ぼしました。また、平成20年4月10日に公表しました「平成20年3月期末の関係会社株式評価損(減損損失)に関するお知らせ」のとおり、株式市況の著しい悪化により、関係会社株式評価損が発生したため、それが特別損失の計上に直結いたしました。これらの結果、売上高827百万円、営業利益24百万円、経常利益153百万円、当期純利益1,911百万円となります。

以上